



## ●特長

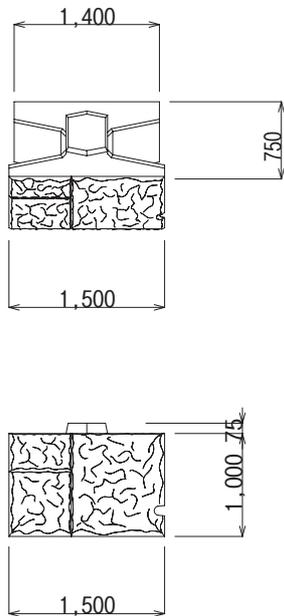
- 長大法面への対応が可能で、ブロック水平長が2,500mmまで規格されており、従来に比べより高い擁壁を構築できます。
- ブロックの大型化により作業の効率化を図れます。
- 5分勾配においては水平積みとなるように設計されているので、より安全な施工ができ、効率の向上を図ることができます。
- 練り積み専用として設計されているので、胴込めコンクリートの打設が容易に行え、強固な擁壁を構築できます。
- ブロックの面体は擬石模様になっており、周囲の景観によく調和します。

## ▼用途

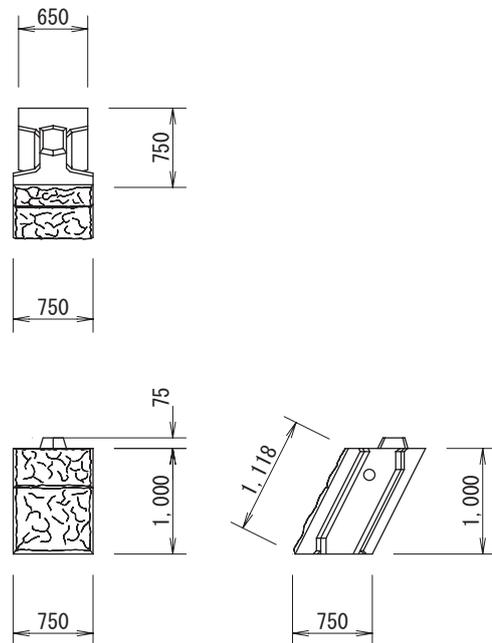
- ▽道路、鉄道などの土留擁壁工
- ▽河川、ダムなどの擁岸法留工
- ▽砂防、治水などの土留山腹工
- ▽地すべり、急傾斜地などの崩壊対策工
- ▽宅地造成などの土留擁壁工
- ▽風致地区、観光地、学校などの景観保全工

■規格図

□75型 A形



□75型 B形



呼び名	主要部寸法 高さ×幅×控長 (mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	胴込コンクリート (m <sup>3</sup> /個)	使用数 (個/m <sup>2</sup> )	
75型	A形	1,000×1,500×750	0.5811	1,336	0.557	0.596
	B形	1,000×750×750	0.3460	795	0.220	—
	C形	500×1,500×750	0.2941	676	0.271	—
	D形	500×750×750	0.1776	408	0.106	—
100型	A形	1,000×1,500×1,000	0.6636	1,526	0.849	0.596
	B形	1,000×750×1,000	0.4259	979	0.327	—
	C形	500×1,500×1,000	0.3374	776	0.416	—
	D形	500×750×1,000	0.2196	505	0.158	—
125型	A形	1,000×1,500×1,250	0.6968	1,602	1.191	0.596
	B形	1,000×750×1,250	0.4641	1,067	0.477	—
	C形	500×1,500×1,250	0.3533	812	0.587	—
	D形	500×750×1,250	0.2404	552	0.231	—
150型	A形	1,000×1,500×1,500	0.7337	1,687	1.529	0.596
	B形	1,000×750×1,500	0.5010	1,152	0.627	—
	C形	500×1,500×1,500	0.3730	857	0.755	—
	D形	500×750×1,500	0.2601	598	0.305	—
175型	A形	1,000×1,500×1,750	0.7705	1,772	1.867	0.596
	B形	1,000×750×1,750	0.5378	1,236	0.778	—
	C形	500×1,500×1,750	0.3927	903	0.923	—
	D形	500×750×1,750	0.2798	643	0.379	—
200型	A形	1,000×1,500×2,000	0.8074	1,857	2.205	0.596
	B形	1,000×750×2,000	0.5747	1,321	0.928	—
	C形	500×1,500×2,000	0.4124	948	1.091	—
	D形	500×750×2,000	0.2995	688	0.453	—
250型	A形	1,000×1,500×2,500	0.8878	2,041	2.875	0.596
	B形	1,000×750×2,500	0.6573	1,511	1.221	—
	C形	500×1,500×2,500	0.4585	1,054	1.420	—
	D形	500×750×2,500	0.3455	794	0.594	—

※迎合突起の形状は最小の規格を諸元として表記しております。

※異形品（控長等）の御用命は御相談下さい。